

相続で失敗しないチェックリスト【完全版】

— 相続登記・遺産承継を進める前に必ず確認 —

■ ① 今すぐ確認（ご自身でチェック）

【相続人・遺言】

- 相続人を全員正確に把握している（戸籍を出生から死亡まで確認）
- 遺言書の有無を正式に確認した（自宅・公正証書・法務局）
- 遺言書の内容を理解している（誰が・何を・どれだけ相続するか）
- 遺留分を侵害する内容になっていないか気になっている

【財産の把握】

- 不動産・預貯金・有価証券・保険を一覧化している
- 不動産の所在地・地番・名義人を把握している
- 借金・保証債務・未払金がないか確認した
- 名義預金・使途不明金がないと言い切れる

【期限・手続】

- 相続登記の義務化（期限3年・過料）を理解している
- 相続税の申告が必要かどうかを把握している
- 期限（相続放棄3か月・準確定申告4か月・税申告10か月）を知っている

【相続人間】

- 相続人全員と連絡が取れる状態にある
- 遺産分割の大まかな方向性を共有できている
- 費用負担・立替金について揉めそうな気配はない

■ ② 専門家相談推奨（1つでも該当したら要注意）

- 未成年者・認知症・行方不明者が相続人に含まれている
- 相続人同士の関係が微妙／過去に揉めた経緯がある
- 不動産が共有名義になる可能性がある
- 未登記建物・境界未確定の土地がある
- 今回だけでなく「次の相続（二次相続）」が不安
- 相続後の不動産をどうするか決まっていない（売却・保有）

ご相談の目安（※この枠は赤枠／薄グレー背景推奨）

上記20項目のうち、②「専門家相談推奨」に1つでも該当する、または①「今すぐ確認」で不安が残る項目がある場合、相続トラブルや手続きの長期化につながる可能性があります。
早めに専門家へ相談することで、時間・費用・家族関係のリスクを最小限に抑えられます。